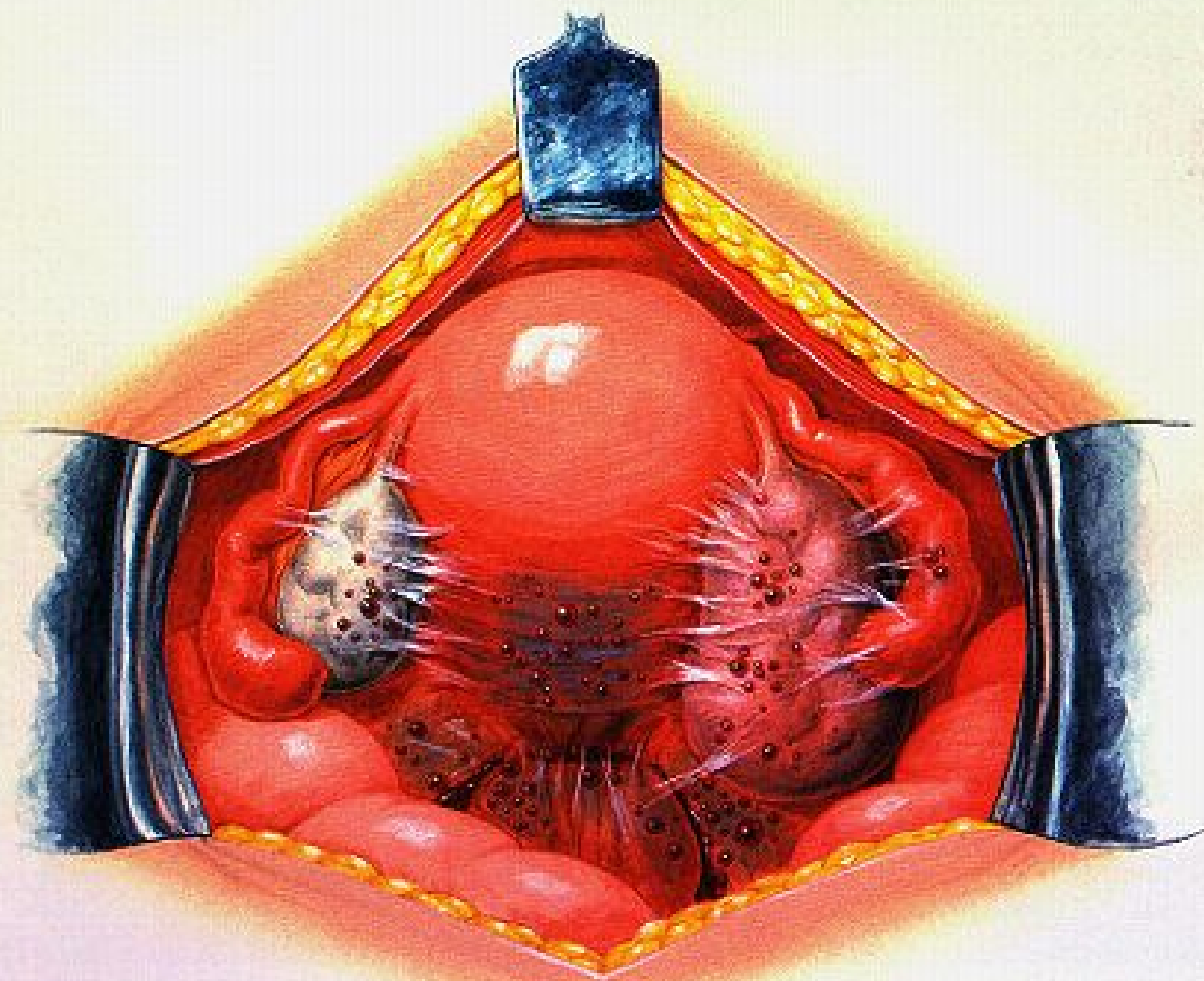


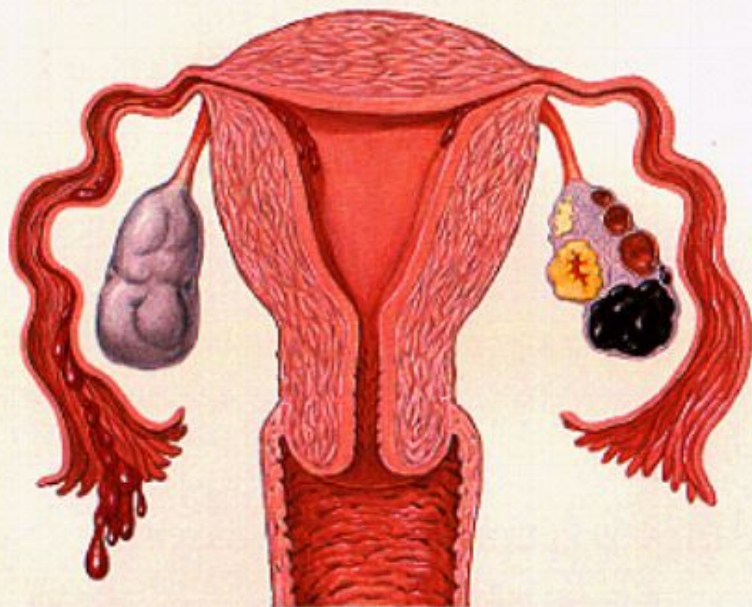
子宮内膜症の進行度 3

腹腔内中の臓器の癒着が強くなり、卵巣が腫れ上がり、子宮が動かなくなる



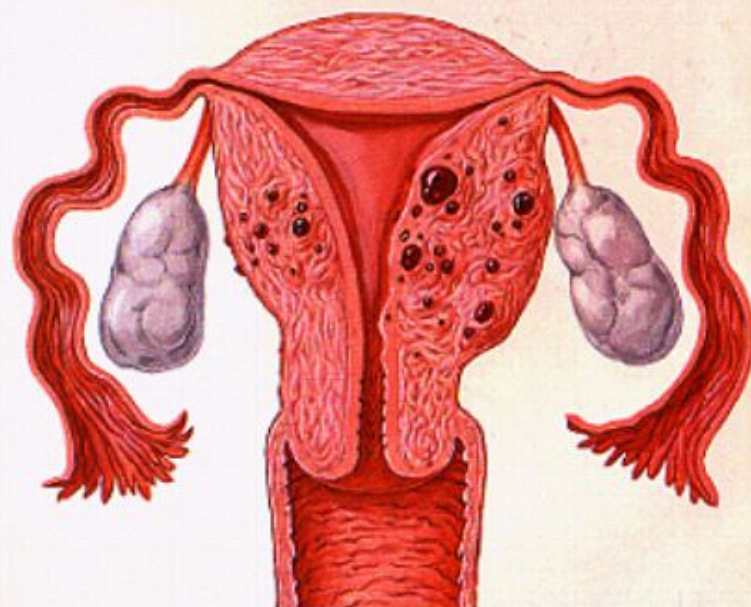
子宮内膜症とはどのような病気でしょう

(月経血が子宮内でうっ滞)



剝離した内膜組織が逆行して
卵管より腹腔へ散乱する

チョコレート嚢腫(卵巣に月経血がたまる)



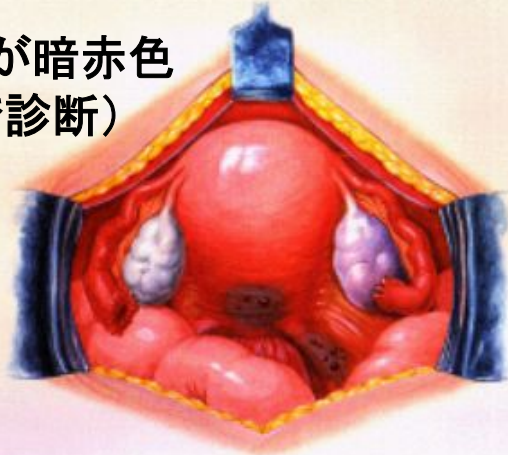
子宮筋層に発生する

腺筋症(子宮の筋層内に)

子宮内膜症の進行度 1

子宮、卵巣などの周囲に1-2mmのブルーベリー様の病変がみられる

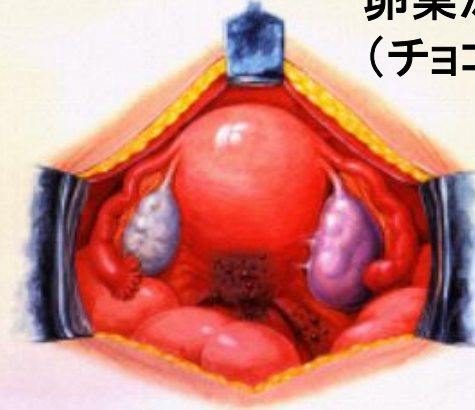
腹膜表面が暗赤色
(腹腔鏡で診断)



子宮内膜症の進行度 2

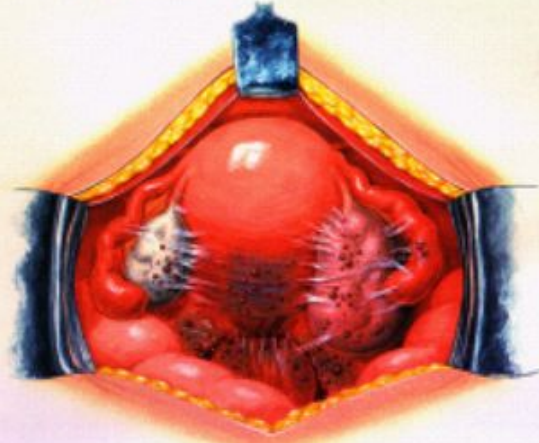
ブルーベリー様の病変がふん、シコクとなる

卵巣がはれる
(チョコレート嚢腫)



子宮内膜症の進行度 3

腹腔内中の臓器の癒着が深くなり、卵巣が覆われ上がり、子宮が動かなくなる



癒着する

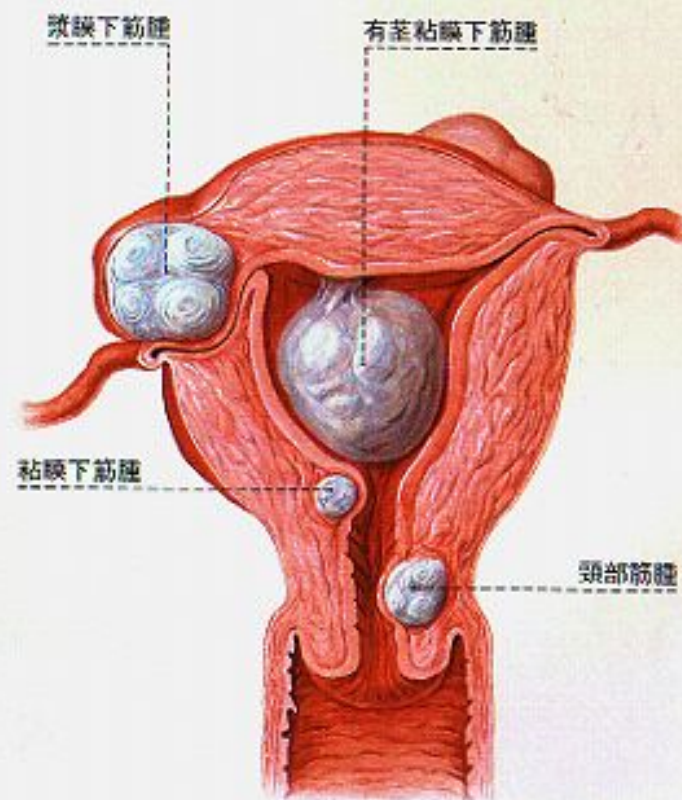
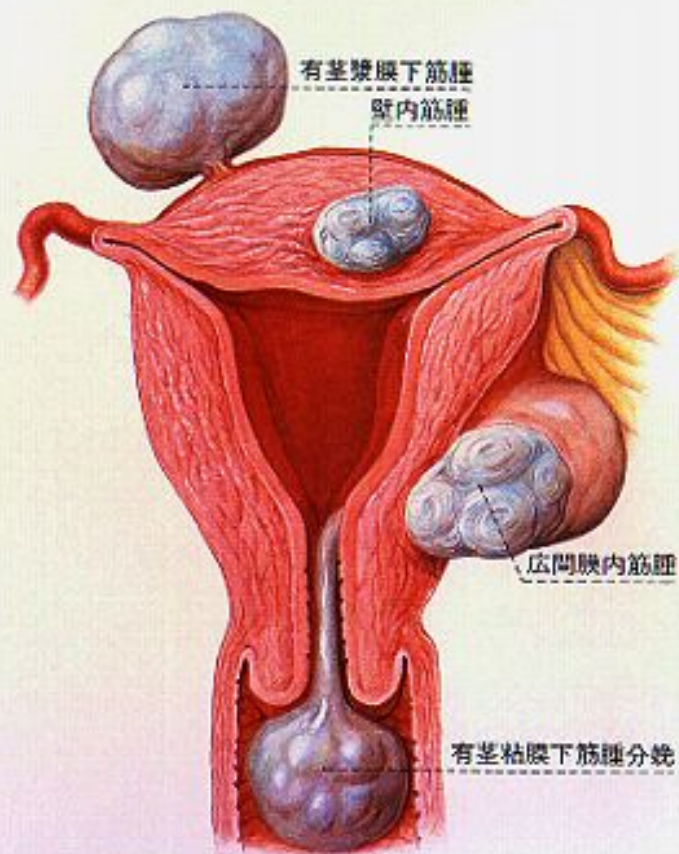
子宮内膜症の進行度 4

覆れ上がった卵巣が破れ、なかからチョコレート状の液が溢るほか、他の臓器も裂けて骨盤の中がひたひたになる

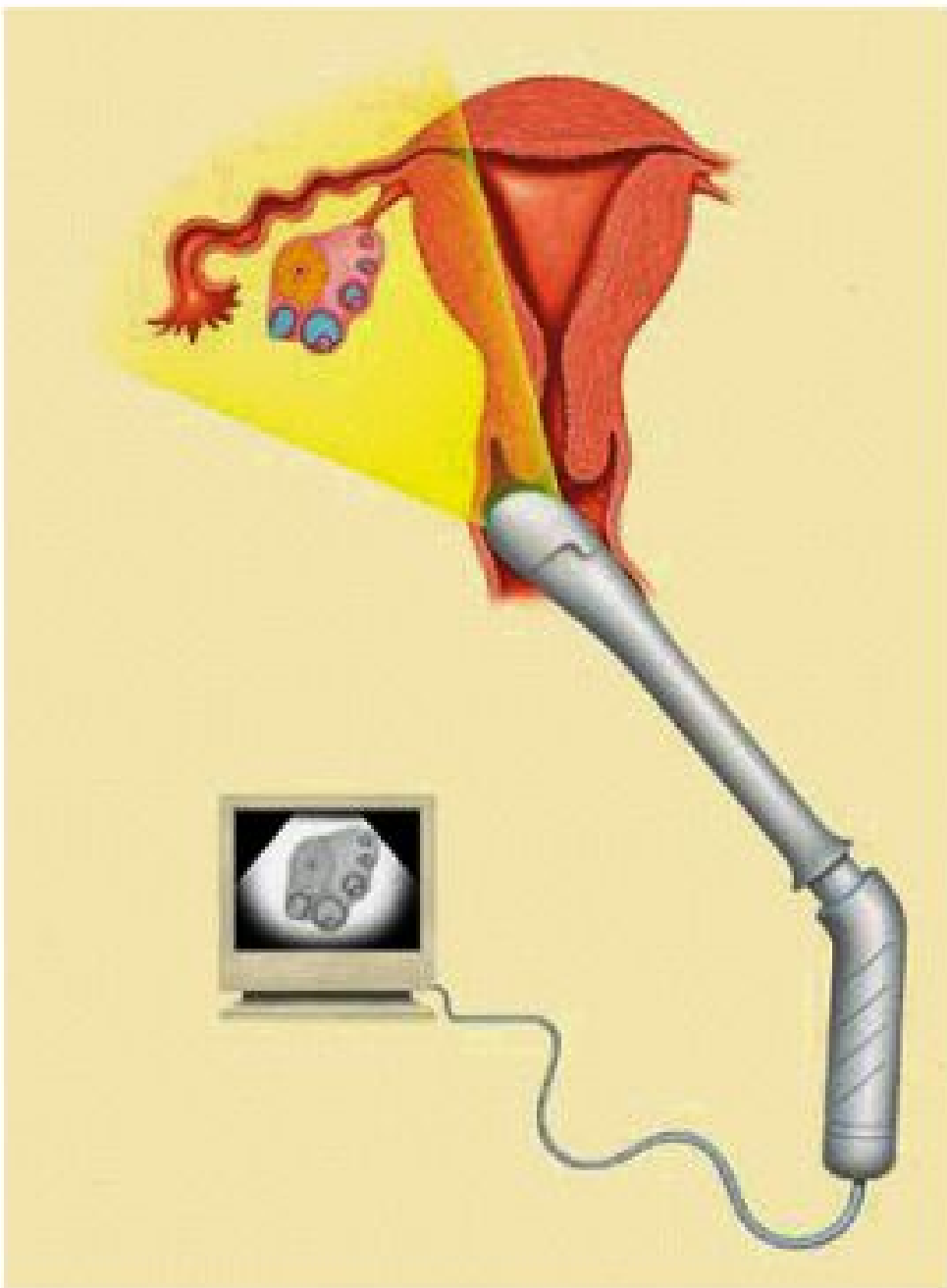


チョコレート嚢腫の破裂→緊急手術

子宮筋腫とは何でしょう



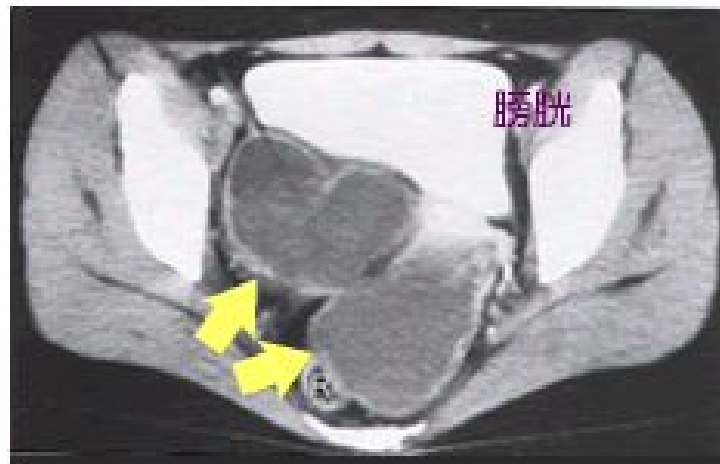
「 經腔超音波檢查 」



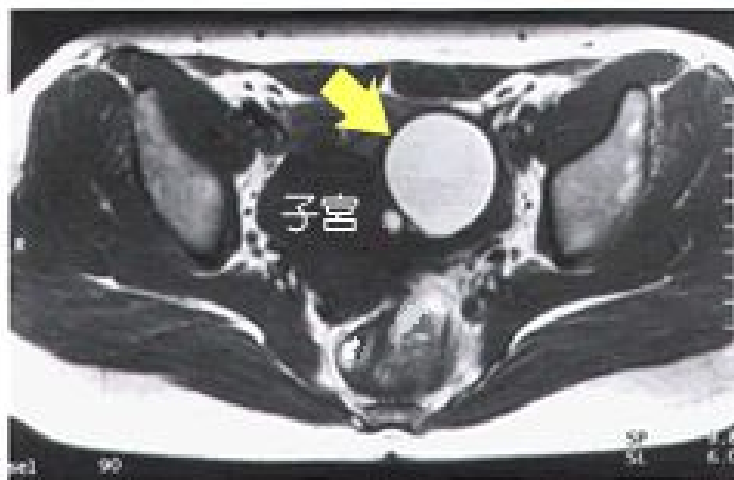
#)子宮内膜症 チョコレート嚢胞の画像診断



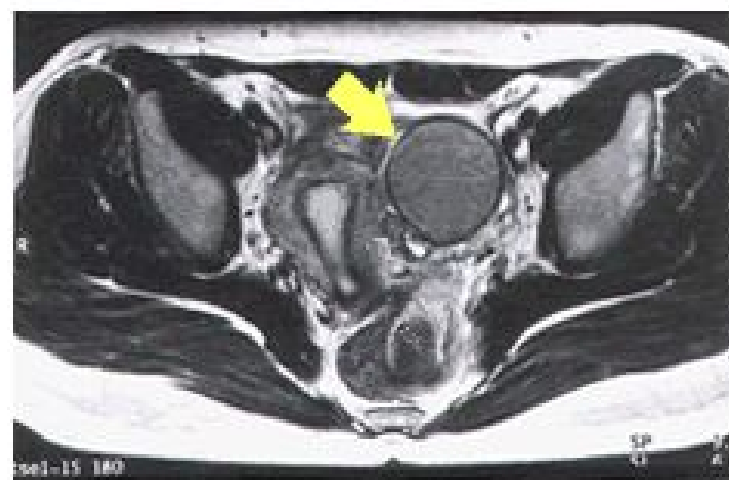
超音波（経膣式）



CT（造影なし）



MR I（T1強調）

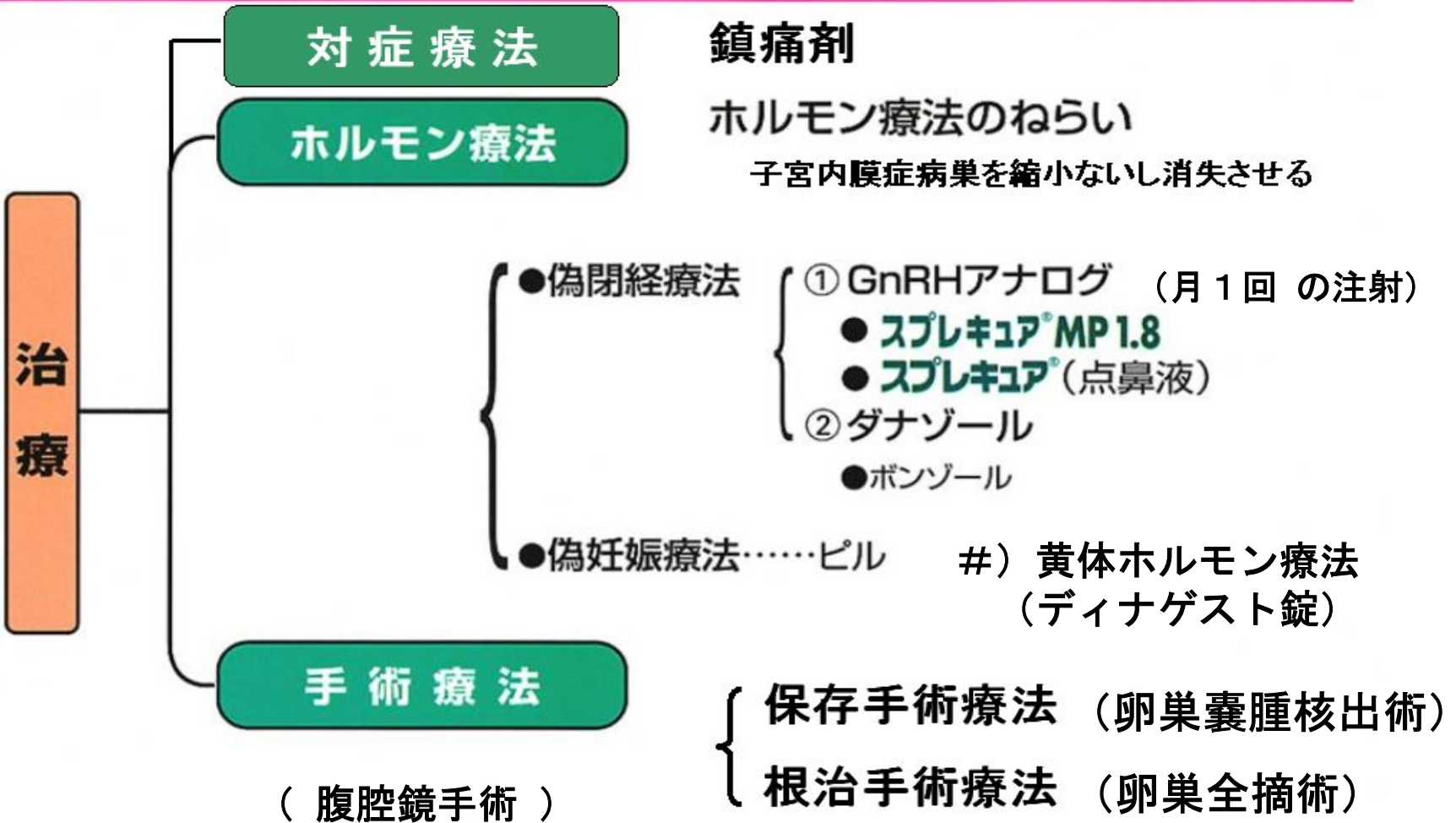


MR I（T2強調）



#) MRI 検査(約30分くらい)

子宮内膜症の治療法



#) 子宮内膜症性卵巣嚢腫 (チョコレート嚢腫) の治療法

1) 経過観察

(エコーや腫瘍マーカーCA125など)

2) 薬物療法

① 低用量ピル (ルナベルなど)

② 低用量黄体ホルモン療法

(ディナゲスト錠内服約6ヶ月~1年)

③ 偽閉経療法 (更年期状態に)

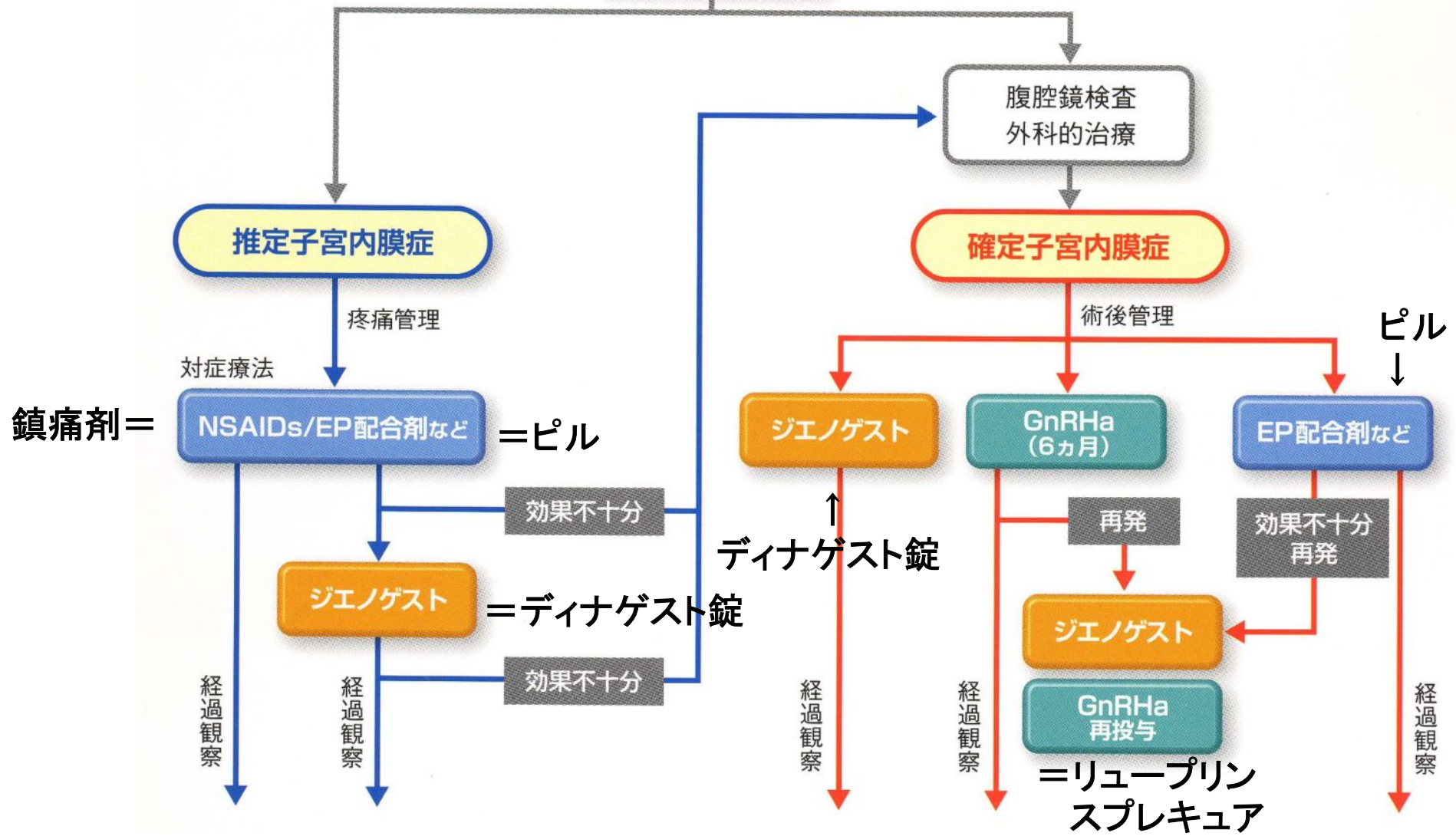
(GnRH療法など)

3) 手術療法 (腹腔鏡など)

子宮内膜症の治療の流れ



病歴、診察
画像診断



副作用の軽減を目的とした GnRH agonist の新しい投与方法

<対象・方法>

- ・子宮内膜症19例(確定診断例)

リュープリン1.88

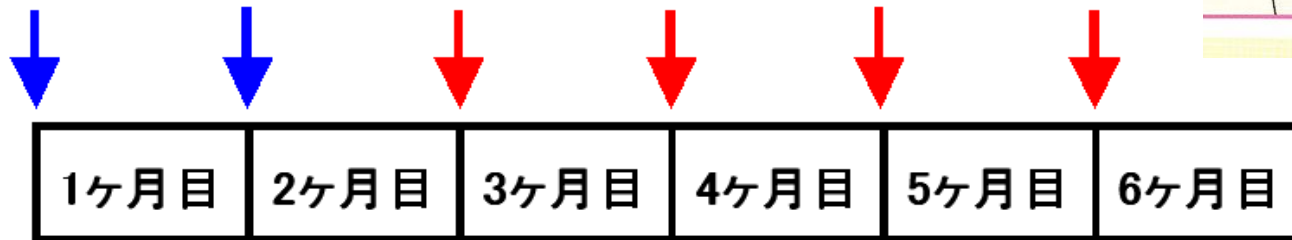
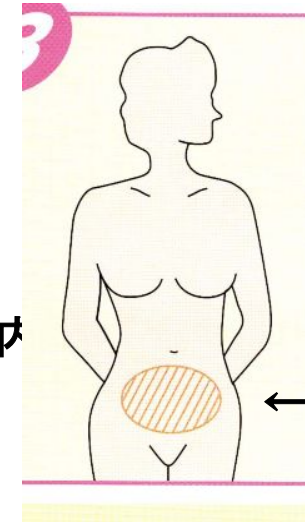
or

ゾラデックス1.8

#) 下腹部の脂肪組織に注射
(月1回来院)

#) 1回目は、生理開始後5日以内

スプレキュアMP



セラピューティックウィンドウにおける エストラジオール(E2)と副作用の関係

更年期様
症状の発
現頻度

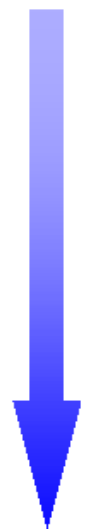
少ない



多い

骨塩量
の減少

少ない



多い

E2量

60pg

Therapeutic Window

30pg

スプレキュアMP

リュープリン

性器出血
の頻度

多い



少ない

E2の
抑制

弱い

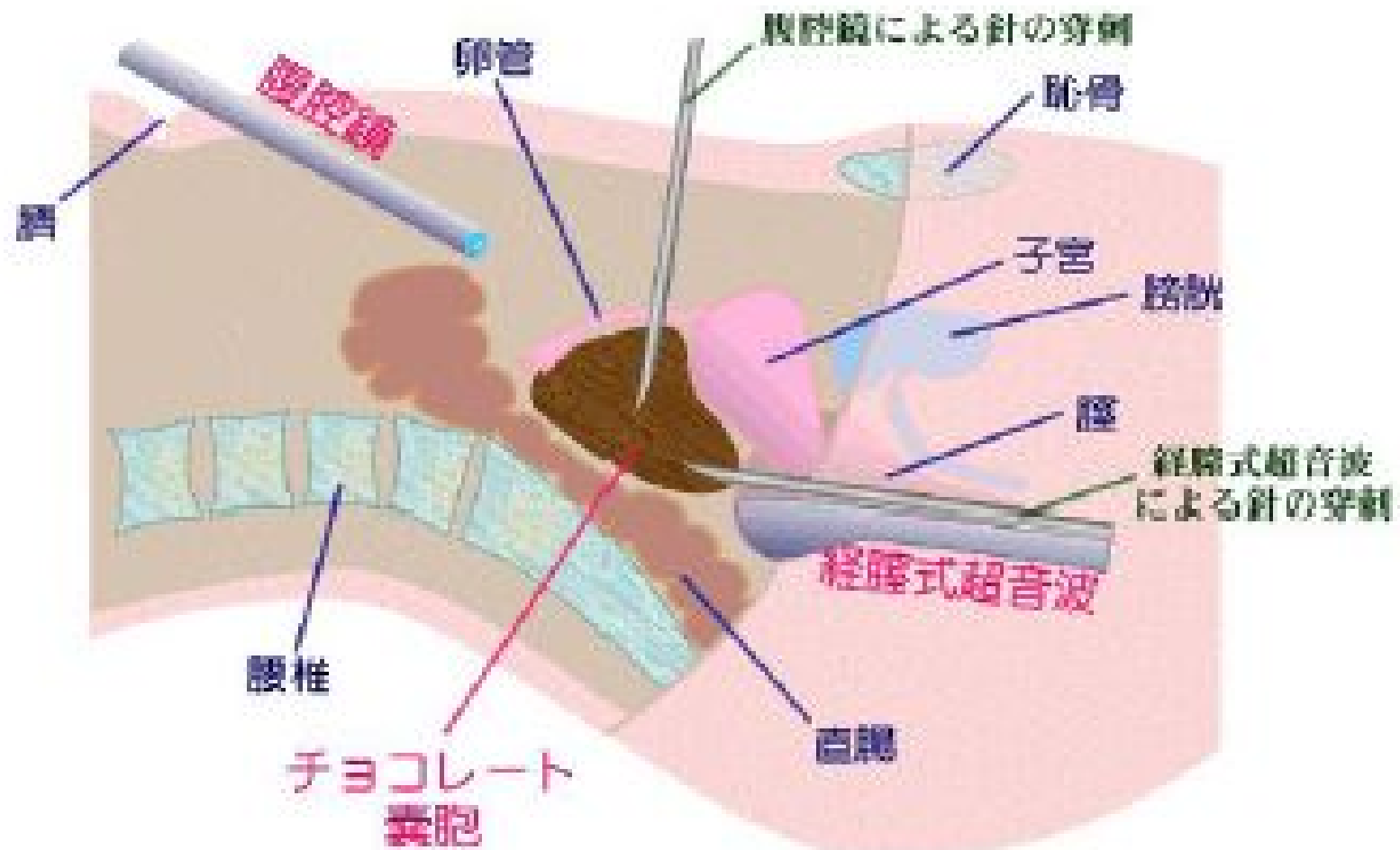


強い

GnRHa薬価および4週間処方の方の患者薬剤負担

製品名	剤型	薬価	4週間の薬価	スプレキュア点鼻との1ヶ月薬価差	患者3割負担1ヶ月差額(対スプレキュア点鼻)
スプレキュア	点鼻	13,103.7	26,207.4	—	—
スプレキュアMP	デポー注射剤	38,098	38,098	11,890.6	3,567増
リュープリン1.88		38,020	38,020	11,812.6	3,544増
リュープリン3.75		54,367	54,367	28,159.6	8,448増
ゾラテックス1.8		37,333	37,333	11,125.6	3,338増

16年4月改訂薬価



腹腔鏡下手術

#) 子宮内膜症性卵巣嚢腫 (チョコレート嚢腫) 管理の注意点

- ① 卵巣嚢腫の茎捻転 (急激な腹痛)
→ 緊急手術
- ② 卵巣嚢腫の悪性変化の可能性
(急な増大、充実部分の出現、
腹水発現)

